

株主メモ

決算期日 毎年3月31日
定時株主総会 毎年6月
上記基準日 定時株主総会については3月31日
 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
配当金受領株主確定日 利益配当金については3月31日
 中間配当金については9月30日(当期は中間配当を実施していません)

1単元の株式数 100株
公告掲載新聞 日本経済新聞
名義書換代理人 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱信託銀行株式会社 証券代行部

同連絡先 〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)
(電話照会先) 電話 0120-707-696 (フリーダイヤル)

同取次所 三菱信託銀行株式会社 全国各支店
証券・銘柄コード 7458

<お知らせ>

1. 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求に必要な各用紙、及び株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用ください。
2. 配当金を郵便貯金口座へお振込みすることができるようになりました。お手続きには振込指定書のご提出が必要ですので名義書換代理人に指定書用紙をご請求ください。
3. 決算公告につきましては、日本経済新聞への掲載のほか、当社のホームページ (<http://www.dkkaraoke.co.jp>) でもご覧になれます。



ECHO

Vol.17 第29期事業報告書
 平成15年4月1日～平成16年3月31日



代表取締役社長
兼最高執行役員
米田 龍佳

●株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。ここに、第29期（平成15年4月1日～平成16年3月31日）の事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

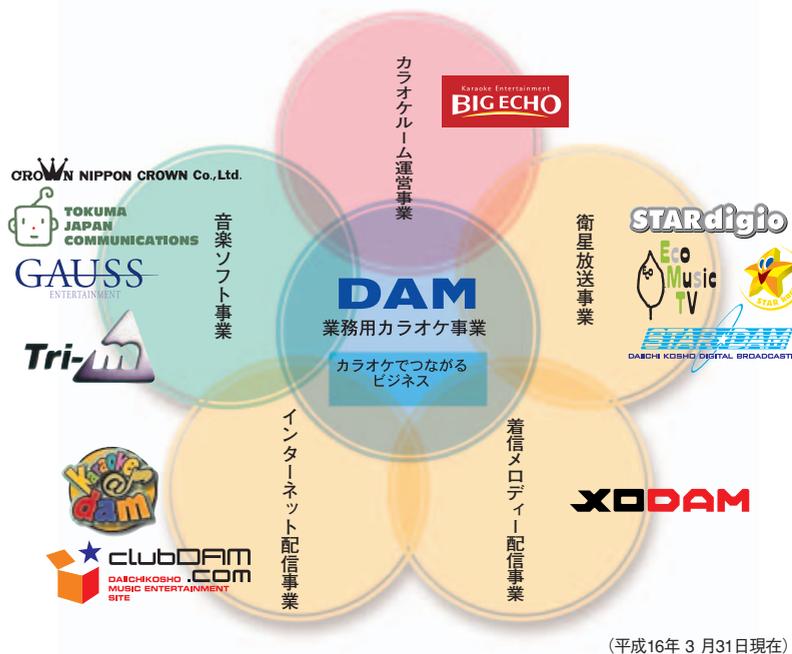
当社グループは、「もっと音楽を世にもっとサービスを世に」を社是とし、創業以来カラオケを通じた音楽の楽しさを提供することで着実に業容を拡大してまいりました。

平成16年度は、第30期という大きな節目となりますが、これを「第二の創業」と位置付け、より一層の事業の拡大と市場の活性化を図るべく、強力で魅力あるコンテンツを創造し、カラオケ事業を中心に音楽とエンタテインメントを融合した新ビジネス「ゲートウェイ事業」に積極果敢に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第一興商グループ 事業ドメイン

～カラオケを中心としたエンタテインメントを提供～



(平成16年3月31日現在)

●業務用カラオケ事業

業務用カラオケ機器・カラオケソフトの販売及び賃貸、並びに通信カラオケへの音源提供を行っております。

●カラオケルーム運営事業

カラオケルーム「ビッグエコー」を国内で199店舗、海外で2店舗展開しており、ルームの運営とともに飲食の提供を行っております。

●コンテンツ事業

衛星放送事業では衛星デジタル放送「スカイパーフェクTV!」をプラットフォームとし、テレビ2ch、ラジオ100chのサービスを行い、eビジネス事業では携帯電話向け着信メロディー配信サービス及びカラオケのインターネット配信サービスを行っております。

●音楽ソフト事業

音楽レコード会社4社及び販売会社1社において音楽、映像ソフトの制作、販売を行っております。

●その他の事業

不動産賃貸事業、飲食事業などを行っております。

TOPICS

ゲートウェイ事業

当社グループは、ブロードバンド接続対応の業務用カラオケ「BB cyber DAM (ブロードバンドサイバーダム)」と情報端末「DAMステーション」を通じてコンテンツサービスを展開する「ゲートウェイ事業」を平成16年4月19日に開始いたしました。これにより、様々なコンテンツが楽しめるエンタテインメント環境を提供することで、カラオケ設置店の集客力を高めるほか、新たな収入を得ることにより、収益の向上と業界の活性化を目指してまいります。

クラブダムメンバーシップ



DAMステーション

「club DAM MEMBERSHIP」とは、エンドユーザーの会員組織で、情報端末「DAMステーション」を通じて様々なコンテンツサービスが楽しめます。会員には「Edy」※ 決済機能付きで有料コンテンツの支払いが簡単に行える「club DAM MEMBERS CARD」が発行されます。



ここからスタート!

無料 メンバースゲート (個人登録サービス)

会員情報を登録すると「My リスト」に歌唱履歴や採点成績、ランキングバトル結果などが表示されます。



●ランキングバトル

全国の「BB cyber DAM」ユーザー同士で採点を競い合うオンライン採点ゲーム

●精密採点

ビブラートやしゃくりなど細かく分析した今までにない採点機能

有料 club DAM 歌唱検定

歌唱データを「BB cyber DAM」から送信すると、有名講師陣の厳正なる審査が受けられ、歌唱審査表や歌唱認定証が発行され段位認定が受けられます。



～段位取得上位者へのチャンス～

- オーディションへの参加
- テレビ番組への出演
- カラオケ大会等のイベント参加

有料 club DAM オーディション

歌唱データや写真を「BB cyber DAM」から送信できるオンラインオーディションシステム。テレビ番組やレコード会社とタイアップした本格的なオーディションに参加することができます。



～オーディション合格者へのチャンス～

- CDデビュー
- カラオケ背景映像出演
- イベント出演

※「Edy」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。

業務用カラオケ事業

「BB cyber DAM (ブロードバンドサイバーダム)」を中心とした出荷が好調に推移いたしました。この結果、「DAMシリーズ」の市場稼働台数は約19万台に達し、通信カラオケ市場シェアは48%となりました。(平成16年3月現在)

今後はブロードバンドの特性を活かした、よりエンタテインメント性のあるコンテンツの充実を図り、あらゆる市場に対応した商品の提供により、更なるシェアアップを目指してまいります。

コンテンツの強化・充実



DAM-G100

DAM-G30 Hyper Karaoke System



DAM-G30

- 総楽曲数 : 約53,500曲 毎月500曲以上を配信 (平成16年3月現在)
- 速攻新曲 : 月100曲以上の最新曲、注目曲を発売日に合わせて配信
- 全曲配信 : 新旧のランキング上位アルバム収録曲や人気アーティスト曲を全曲配信
- 本人出演映像 : メジャーアーティストを中心に歌手本人出演映像を充実
- ボーカルアシスト : 歌唱が途切れた時でもお手本のボーカル(歌声)がサポートしてくれる「ボーカルアシスト」機能対応曲を増曲
- 生音演奏曲 : 生の楽器で演奏した臨場感あふれる音質を再現
- 振付映像 : ピンクレディー本人のオリジナル振付映像を平成16年7月より配信予定

- 外観 : 本体にパワーアンプを内蔵したコンパクトな形
- 総楽曲数 : 約19,900曲(今秋大量増曲予定)
- 楽曲 : 外国曲数は業界最多
- 映像 : 約1,500シーン以上搭載

カラオケルーム運営事業

「ビッグエコー」は、全国の駅前や繁華街を中心に国内199店舗、海外2店舗を展開しております。(平成16年3月現在)

今後も立地や収益性を見据えた積極的な出店を行い、通信カラオケの最新機種を導入するとともに、快適な環境づくりや接客サービスのより一層の向上を目指してまいります。

また、ブロードバンド対応の通信カラオケ「BB cyber DAM」と連動した情報端末「DAMステーション」の導入を順次進め、双方向によるコンテンツサービスの充実と「BIG ECHO/club DAM MEMBERS CARD」の会員獲得を図り、収益の向上に努めてまいります。

●NEW OPEN

ビッグエコー道頓堀本店

大阪市内のカラオケルーム最大にしてビッグエコー最大規模の店舗。内装をグレードアップさせた「スタイリッシュルーム」は女性のお客様にも好評です。

- オープン日 : 平成15年12月8日
- 住所 : 大阪府大阪市中央区道頓堀1-8-26
- 電話番号 : (06) 6214-6636
- アクセス : 地下鉄・近鉄・南海なんば駅から徒歩5分
- ルーム数 : 100室

ビッグエコー立川南口店

立川駅を南口に出ると目の前に赤いビッグエコーロゴと、お洒落なビルがひととき映えたカラオケ空間です。

- オープン日 : 平成16年3月15日
- 住所 : 東京都立川市柴崎町3-6-5
- 電話番号 : (042) 540-0031
- アクセス : JR中央線立川駅から徒歩1分
- ルーム数 : 52室



道頓堀本店



立川南口店

●新年度の出店計画 (国内店舗)

	店舗数	ルーム数
当 社	13	715
子 会 社	11	385
合 計	24	1,100

コンテンツ事業

当社は、平成15年11月に着信メロディーサイト「メロDAM」において機能拡張に伴うリニューアルを行い、またインディーズ曲やアーティスト情報等を配信する新規サイト「スーパーインディーズ」を開始いたしました。

今後は、「着うた」・「着モーション」等のコンテンツサービス「メロDAMch」やゲームコンテンツ「PLANET SAGA (プラネットサガ)」を開始する予定であり、当社グループ保有のコンテンツ等を利用し、様々なユーザーニーズに対応したサービスを展開するとともに、携帯電話向けサービスの更なる充実を目指してまいります。

新サービス



うたch

J-POP/演歌/クラシック/童謡

グループレーベルの楽曲を中心に配信



ギターch

オリジナルギターサウンド

著名な実演家によるカバー演奏を映像付で配信



着カラch

最強のインストゥルメンタル

DAMの音にオリジナル映像を組み合わせて配信



PLANET SAGA

(プラネットサガ)

宇宙を舞台としたロールプレイングゲーム

NTTドコモ携帯端末「FOMA900i」シリーズ対応

音楽ソフト事業

当社グループは、音楽ソフト事業の業容拡大を図るため、平成15年10月1日付けで(株)トライエムを完全子会社といたしました。これにより、当社が保有する音楽レコード会社は4社(日本クラウン(株)・(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ・(株)ガウスエンタテインメント・(株)トライエム)と販売会社1社(株)ファーストディストリビューション)となり、インディーズからJ-POP、演歌まで様々なジャンルのアーティストや楽曲をプロデュースしてまいります。



日本クラウン(株) Gackt

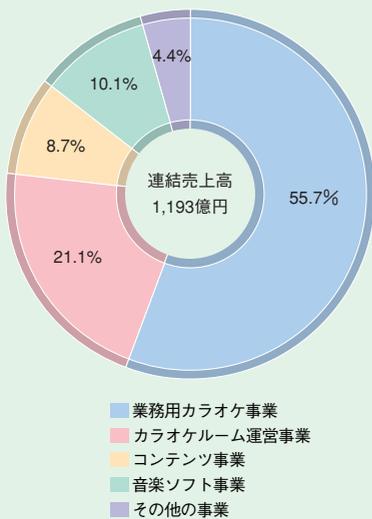
平成11年からソロ活動を始めて5年。待望のベストアルバム「THE SIXTH DAY~SINGLE COLLECTION~」が好評発売中。また、平成16年5月には、ニューアルバム「THE SEVENTH NIGHT~UNPLUGGED~」を発売すると同時に全国ライブツアー公演「THE SIXTH DAY & THE SEVENTH NIGHT」を開始いたしました。彼の持つ独特な雰囲気と神秘的な魅力で今後の活躍が期待されます。

(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ 水森 かおり

平成15年に発売した「鳥取砂丘」がロングヒットを続け、数々の賞を受賞【第54回NHK紅白歌合戦】に初出場を果たしました。平成16年4月14日には、新曲「銚路湿原」を発売し、オリコン初登場5位と大好評です。今後の更なる活躍が期待されます。

営業の概況（連結）

●連結売上高構成比



●連結売上高 (単位：百万円)



当期の概況

当期におけるわが国経済は、雇用不安や公的年金問題に象徴される将来不安を背景に、個人消費はまだまだ本格回復は見せていないものの、デジタル家電を中心とした民間設備投資の伸びや、中国などアジア諸国向けの輸出が堅調に推移し、またバブル崩壊後の最安値を更新した日経平均株価が期後半から上昇基調に転じるなど、景気は底打ちから緩やかながら回復の兆しが窺える状況で推移いたしました。

当カラオケ業界におきましては、長引くデフレの影響から商品やサービスの低価格競争が続くなか、一部メーカーからは新商品が発売されるなどの事業展開も見受けられました。ナイト市場におきましては、個人消費の伸び悩みから依然として経営環境は厳しくバー・スナックなどの閉店が相次ぐ反面、他店との差別化に注力する店舗が好調であるなど明暗の分かれる状況となっております。一方、カラオケボックスなどデイ市場におきましては、小規模店舗の投資意欲の減退は続いているものの、チェーン店を展開している中・大規模事業者はスケールメリットを活かし多様なサービスも提供できる大型店の積極出店により、ここ数年減少してきたルーム数が前年度に比べ増加に転じるなど明るさを取り戻してまいりました。

この様な環境のなか当社グループは、業務用カラオケ市場における更なるシェアアップを図るため、主力商品である「ブロードバンドサイバーDAM (DAM-G100)」や電子目次本「デンモク」を中心にカラオケ機器の販売及び賃貸の拡大に注力するとともに、カラオケルーム運営事業におきましては不採算店舗の整理が一巡したことから、立地を厳選した新規店舗の出店を積極的に進めてまいりました。また、コンテンツ事業におきましてはサービスの拡充と各媒体による販促活動を積極的に実施し、当社グループが展開する各種サービスの契約件数の増加に努めてまいりました。音楽ソフト事業におきましては業容の拡大を図るため、新たに音楽レコード会社を買収し子会社化いたしました。当社及び当社グループは、事業を取り巻く急激な環境変化に柔軟に対応しつつ、「音楽とカラオケとエンタテインメント」が一体となった総合音楽エンタテインメントビジネスの実現のため、これら経営上の諸施策を積極的に推進してまいりました。

以上の結果、当期の売上高は119,335百万円と前期比1.9%の増収となり、また利益面におきましては、新商品開発及びコンテンツ強化にかかるコストや、各種シェアアップ施策のための営業費用の増加を吸収し、営業利益は13,126百万円と前期比5.1%の増加となり、経常利益も過去最高益を更新し12,331百万円と前期比13.8%の増加となりました。

一方、特別損失において、役員退職慰労金の支給基準を制度化したことにより、過年度の役員退職慰労引当金繰入額を一括計上し、また繰延税金資産を調整した結果、当期純利益は前期比29.4%減少の4,898百万円となりました。

次期の見通し

今後の見通しにつきましては、世界情勢は不安定要因を抱えており、また国内の雇用環境は依然厳しい状況にはあるものの、デジタル家電商品の需要に見られるように個人消費は回復傾向を窺わせつつあり、併せて輸出の拡大や民間設備投資の伸びに支えられ、着実に景気回復に向かうものと思われれます。

当業界を取り巻く経営環境は依然として厳しいものの、通信カラオケ機器は旧機種から新機種への更新期に入っており、メーカーによる新商品の市場投入も予想される一方、大手カラオケボックスチェーンの出店意欲も旺盛であり、メーカー及びカラオケボックス事業者とも業界での生き残りをかけた競争が激化するとともに市場の二極化はより鮮明となるものと思われれます。

平成16年度は、当社においては第30期という大きな節目となりますが、これを「第二の創業」と位置付け、新年度より開始した新規ビジネスである「ゲートウェイ事業」に全力で取り組み、「ブロードバンドサイバーDAM」と情報端末「DAMステーション」との融合によるブロードバンドを活用した双方向サービスを提供することで、カラオケビジネス環境の変革と市場の活性化を図るとともに更なる事業拡大に邁進してまいります。

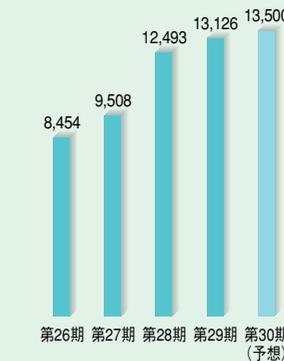
また、業務用カラオケ市場におけるトップシェアの更なる拡大を目指し、商品やサービスの差別化と品質強化による「DAM」ブランドの価値向上に努めてまいります。カラオケルーム運営事業におきましては、立地を厳選しかつ投資効率を重視した新規出店を積極的に進めることで一層の収益向上を目指してまいります。衛星放送事業につきましては、業務用サービスの契約件数増加に注力することで事業黒字の定着を図り、またeビジネス事業につきましては、効果的な販促活動と優良コンテンツの開発による抜本的な加入者増加策を実施し、併せて当社が保有する各種コンテンツの二次活用を推進し収益拡大に努めてまいります。

一方、子会社が展開する音楽ソフト事業におきましては、当社グループのネットワークを生かした新人アーティストの発掘とヒット曲の創造に努めてまいります。

当社及び当社グループは、予断を許さない厳しい環境下ではありますが、以上の諸施策を確実に実行することにより、次期の業績については売上高1,260億円、経常利益128億円、当期純利益68億円を計画しております。

また、配当金につきましては、平成16年5月20日付けで実施いたします株式分割（1株に対し2株）を勘案し1株当たり年間配当金20円を予定しております。

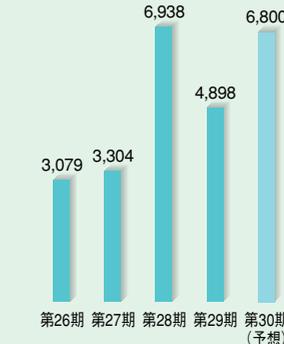
●連結営業利益 (単位：百万円)



●連結経常利益 (単位：百万円)



●連結当期純利益 (単位：百万円)



セグメント別概況

セグメント	業務用カラオケ事業	カラオケルーム運営事業	コンテンツ事業	音楽ソフト事業	その他の事業
売上高 (百万円)	66,505	25,156	10,324	12,098	5,249
営業利益 (百万円)	10,683	2,499	1,642	342	485

事業の種類別セグメントの概況は、以下の通りであります。



業務用カラオケ事業

売上高 **66,505**百万円(前期比 +8.1%)
 営業利益 **10,683**百万円(前期比 +9.5%)

当事業におきましては、市場における通信カラオケの普及に伴いカラオケディスクの製造販売が当期末をもって終了することから、製品売上高は減少いたしました。

一方、市場での商品の低価格化が進行するなかにおいて、当社グループにおきましては、搭載機能や多彩なコンテンツなど付加価値を高めた商品の提供により積極的な営業展開を図り、上期には「ニューサイバーDAM (DAM-G50II)」を、下期には映像・楽曲・音質のすべてにおいて従来商品を圧倒し、またブロードバンド環境を本格的に活用し双方向サービスを可能とした新商品「ブロードバンドサイバーDAM (DAM-G100)」を中心に、市場の買換需要を着実に取り込んでまいりました。併せて電子目次本「デンモク」も市場からの評価を得て、積極展開するカラオケボックスチェーン店への新規需要など「DAM」の出荷を後押ししたことから、通信カラオケの出荷台数としては過去最高となり年間出荷台数33,786台を達成いたしました。また、ナイト市場を中心とするカラオケ機器賃貸におきましては、月額賃貸料金の低下傾向にあるなか徹底した契約件数の増加施策を実施し件数増加を図るほか、カラオケ音源等の情報提供料収入におきましても、販売台数や賃貸件数の増加に伴い通信カラオケ機器の稼働台数が着実に伸びました。この結果、当事業の売上高は前期比8.1%増加し、営業利益も前期比9.5%の増加となりました。



カラオケルーム運営事業

売上高 **25,156**百万円(前期比 +6.0%)
 営業利益 **2,499**百万円(前期比 +6.0%)

カラオケルーム「ビッグエコー」の運営におきましては、各店舗において「DAM」の最新機種を導入を進めるほか店舗リニューアルも積極的に実施し、充実した設備と質の高いサービスを提供することで既存店の集客数・売上高ともに前期を上回るなど好調裡に推移いたしました。また、不採算店舗の整理もほぼ一巡したことから、当期は首都圏及び地方中核都市の駅前や繁華街の一等地において15店舗を新規出店するほか6店舗を閉店し、当社グループが運営する店舗は当期末現在201店舗(国内199店舗、海外2店舗)、部屋数は前期末から530ルーム増加の5,362ルームとなっております。この結果、当事業の売上高は前期比6.0%増加し、営業利益も前期比6.0%の増加となりました。



コンテンツ事業

売上高 **10,324**百万円(前期比 +0.2%)
 営業利益 **1,642**百万円(前期比 △15.0%)

当事業におきましては衛星放送事業とeビジネス事業を行っておりますが、衛星放送事業におきましては、民生用サービスの契約件数が減少傾向にあるなかこれと同様のコンテンツを業務用に提供する「スターダム」サービスの契約件数が堅調に伸長し、またコストコントロールによる収益改善にも努め、事業開始以来初の単年度黒字化を達成いたしました。一方、eビジネス事業におきましては、着信メロディー市場全体の加入者数が減少傾向にあるなか、当社では新規サイトの立上げやサービスの拡充を図り、併せて各種販促活動を実施することにより加入者の減少を最小に留めるよう努めてまいりました。この結果、当事業の売上高は前期比0.2%増加とほぼ横ばいで推移したものの、eビジネス事業における新規サイトの運営費用や販促活動に伴う広告宣伝費などの増加により、営業利益は前期比15.0%の減少となりました。



音楽ソフト事業

売上高 **12,098**百万円(前期比 △27.3%)
 営業利益 **342**百万円(前期比 +425百万円)

当事業におきましては、音楽CD市場が依然として縮小傾向にあるなか、業容の拡大を図るため下期にはインディーズ音楽事業を展開する(株)トライエムの株式を取得し子会社化いたしました。一方、前期の売上高に貢献した「千と千尋の神隠し」などのヒット作が当期は少なかつたため、売上高においては前期比27.3%の大幅な減少となりましたが、コストコントロールによる収益改善に努めた結果、営業利益は425百万円増加し単年度黒字化を達成いたしました。

CROWN NIPPON CROWN Co.,Ltd.



その他の事業

売上高 **5,249**百万円(前期比 +7.6%)
 営業利益 **485**百万円(前期比 △22.6%)

当事業におきましては、飲食事業及び不動産賃貸が主なものであります。当期は、飲食事業が順調に推移したことから売上高は前期比7.6%増加したものの、販売費及び一般管理費の増加により営業利益は前期比22.6%の減少となりました。



連結決算概要

連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科 目	第29期	第28期	対前期増減額
	平成16年3月31日現在	平成15年3月31日現在	
資産の部			
流動資産	54,644	53,201	1,442
固定資産	83,808	78,736	5,072
有形固定資産	48,345	46,967	1,378
無形固定資産	8,950	7,709	1,240
投資その他の資産	26,513	24,059	2,453
資産合計	138,453	131,938	6,514
負債の部			
流動負債	49,541	36,598	12,942
固定負債	27,144	38,482	△11,338
負債合計	76,685	75,080	1,604
少数株主持分			
少数株主持分	910	1,301	△ 391
資本の部			
資本金	12,349	12,348	0
資本剰余金	24,001	24,000	0
利益剰余金	29,716	29,879	△ 163
土地再評価差額金	△ 5,761	△10,005	4,243
その他有価証券評価差額金	1,286	△ 103	1,389
為替換算調整勘定	31	135	△ 103
自己株式	△ 767	△ 700	△ 67
資本合計	60,856	55,555	5,300
負債、少数株主持分及び資本合計	138,453	131,938	6,514

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

流動資産

流動資産の増加1,442百万円は現金及び預金の増加3,203百万円が主なものであり、これは定期性預金の増加によるものであります。

POINT

固定資産

固定資産の増加5,072百万円は投資有価証券の増加4,130百万円が主なものであります。

POINT

流動負債

流動負債の増加12,942百万円は一年内償還予定転換社債の固定負債からの振替10,799百万円が主なものであります。

POINT

固定負債

固定負債の減少11,338百万円は、転換社債の流動負債への振替10,799百万円及び買入消却1,366百万円が主なものであります。

連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科 目	第29期	第28期	対前期比 (%)
	平成15年4月1日から平成16年3月31日まで	平成14年4月1日から平成15年3月31日まで	
営業収益	119,335	117,057	101.9
営業費用	106,300	104,674	101.6
割賦販売未実現利益	92	110	
営業利益	13,126	12,493	105.1
営業外収益	1,792	1,798	
営業外費用	2,587	3,460	
経常利益	12,331	10,831	113.8
特別利益	426	492	
特別損失	4,853	4,808	
税金等調整前当期純利益	7,904	6,516	121.3
法人税、住民税及び事業税	1,975	1,999	
法人税等調整額	1,021	△2,499	
少数株主利益	8	76	
当期純利益	4,898	6,938	70.6

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

〈注記事項〉

	第29期	第28期
1. 有形固定資産の減価償却累計額	49,527百万円	49,268百万円
2. 保証債務	899百万円	1,136百万円
3. 担保提供資産	16,886百万円	23,195百万円
上記に対応する債務	12,994百万円	22,809百万円
4. 1株当たり当期純利益	265円08銭	375円89銭
5. 1株当たり株主資本	3,378円93銭	3,081円34銭

POINT

営業損益

音楽ソフト事業の売上高が減少したものの、これ以外の事業セグメントはすべて増収となり、営業収益は前期比101.9%、2,278百万円の増収となりました。これにより、新商品開発やコンテンツ強化にかかるコスト等の営業費用の増加を吸収し、営業利益は前期比105.1%、633百万円の増益となりました。

POINT

当期純利益

役員退職慰労金規程の整備を行ったことにより、役員退職慰労金の過年度負担額2,921百万円を特別損失に一括計上し、また繰延税金資産を調整した結果、当期純利益は前期比70.6%、2,039百万円の減益となりました。

連結決算概要

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

科 目	第29期	第28期
	平成15年4月1日から平成16年3月31日まで	平成14年4月1日から平成15年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,200	19,876
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,056	△14,286
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,606	△ 3,076
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 66	△ 0
現金及び現金同等物の増加額(△は減少額)	△ 2,530	2,513
現金及び現金同等物の期首残高	22,831	20,317
現金及び現金同等物の期末残高	20,300	22,831

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

営業活動によるキャッシュ・フロー

- 減価償却費 1,572百万円増加
- 役員退職慰労引当金 3,141百万円増加
- 法人税等の支払額 1,441百万円減少

POINT

投資活動によるキャッシュ・フロー

- 定期性預金の預入れによる支出 5,794百万円増加
- 有形固定資産の取得による支出 1,725百万円増加

POINT

財務活動によるキャッシュ・フロー

- 長期借入による収入 9,254百万円減少
- 長期借入金の返済による支出 2,124百万円減少
- 短期借入金 5,273百万円増加

連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	第29期	第28期
	平成15年4月1日から平成16年3月31日まで	平成14年4月1日から平成15年3月31日まで
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	24,000	24,000
資本剰余金期末残高	24,001	24,000
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	29,879	38,889
利益剰余金増加高		
当期純利益	4,898	6,938
利益剰余金減少高		
配当金	683	658
役員賞与	134	105
土地再評価差額金取崩額	4,243	15,184
計	5,062	15,948
利益剰余金期末残高	29,716	29,879

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

単体決算概要

貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科 目	第29期	第28期	対前期増減額
	平成16年3月31日現在	平成15年3月31日現在	
資産の部			
流動資産	33,571	31,761	1,810
固定資産	55,007	50,785	4,222
有形固定資産	20,662	20,228	434
無形固定資産	8,437	7,087	1,350
投資その他の資産	25,907	23,469	2,437
資産合計	88,578	82,546	6,032
負債の部			
流動負債	27,116	15,258	11,857
固定負債	10,647	21,744	△11,097
負債合計	37,763	37,002	760
資本の部			
資本金	12,349	12,348	0
資本剰余金	24,001	24,000	0
利益剰余金	19,716	19,999	△ 282
土地再評価差額金	△ 5,761	△10,005	4,243
その他有価証券評価差額金	1,277	△ 99	1,376
自己株式	△ 767	△ 700	△ 67
資本合計	50,815	45,543	5,272
負債・資本合計	88,578	82,546	6,032

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科 目	第29期	第28期	対前期比(%)
	平成15年4月1日から平成16年3月31日まで	平成14年4月1日から平成15年3月31日まで	
営業収益	80,711	74,974	107.7
営業費用	72,665	66,855	108.7
割賦販売未実現利益	125	7	
営業利益	8,170	8,125	100.6
営業外収益	1,049	1,066	
営業外費用	1,688	1,681	
経常利益	7,531	7,510	100.3
特別利益	424	482	
特別損失	2,621	5,984	
税引前当期純利益	5,334	2,009	265.6
法人税、住民税及び事業税	100	100	
法人税等調整額	555	△ 2,441	
当期純利益	4,679	4,350	107.6
前期繰越利益	679	598	
利益準備金取崩額	—	485	
土地再評価差額金取崩額	△ 4,243	△15,184	
当期未処分利益(△未処理損失)	1,114	△ 9,750	

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

利益処分

(単位：百万円)

科 目	第29期	第28期
	平成15年4月1日から平成16年3月31日まで	平成14年4月1日から平成15年3月31日まで
当期未処分利益(△未処理損失)	1,114	△9,750
別途積立金取崩額	—	11,150
合計	1,114	1,399
これを次のとおり処分いたしました。		
利益配当金	682	683
(1株につき38円)	(1株につき38円)	(1株につき38円)
役員賞与金	23	36
(うち監査役賞与金)	(3)	(13)
合計	706	719
次期繰越利益	408	679

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注記事項)	第29期	第28期
1. 有形固定資産の減価償却累計額	23,102百万円	23,098百万円
2. 1株当たり当期純利益	258円95銭	238円37銭
3. 1株当たり株主資本	2,826円29銭	2,530円19銭

株式の状況 (平成16年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数 **59,560,000株**

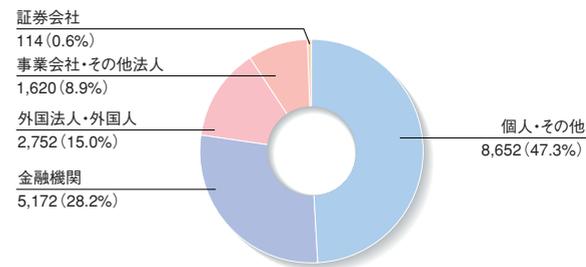
発行済株式の総数 **18,310,463株**

株主数 **8,862名**

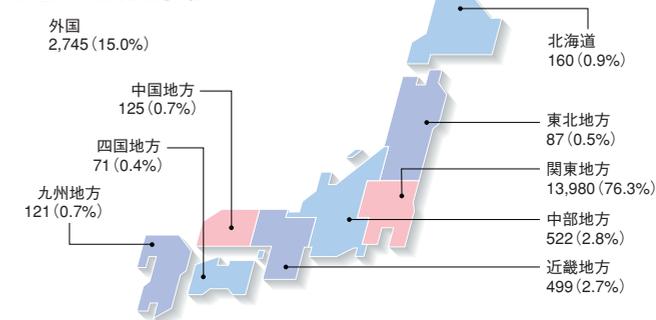
大株主

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
保志忠彦	2,611	14.7
日本マスタートラスト信託銀行(株)	2,093	11.8
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	1,200	6.8
(有)ホシ・クリエート	1,156	6.5
保志忠郊	735	4.1
保志治紀	723	4.1
バンクオブニューヨークヨーロッパ リミテッドルクセンブルグ131800	581	3.3
資産管理サービス信託銀行(株)	348	2.0
米田龍佳	346	1.9
三菱信託銀行(株)	287	1.6

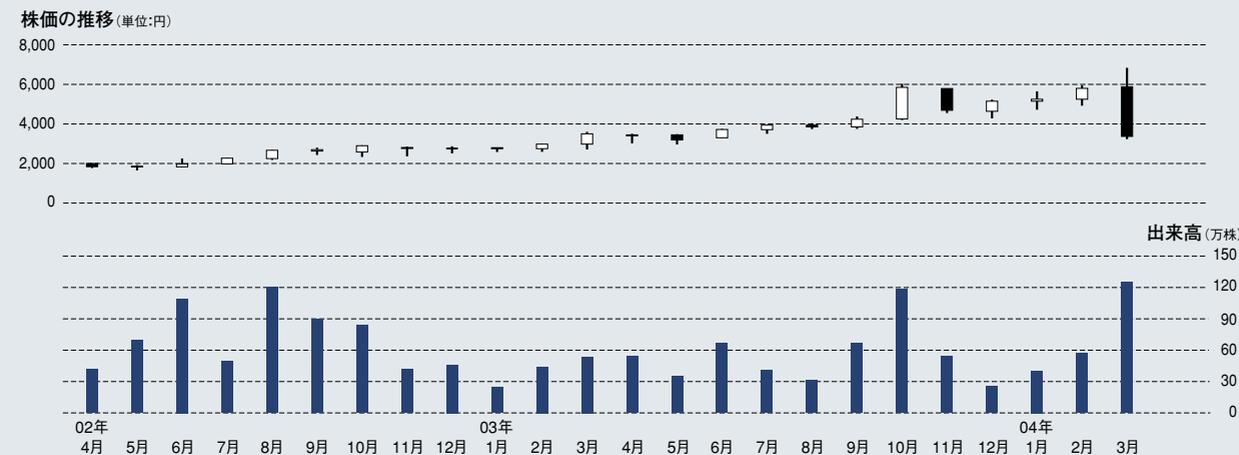
所有者別株式分布 (単位：千株/構成比)



地域別株式分布 (単位：千株/構成比)



株価(月足)チャート



(注)平成16年5月20日付けで平成16年3月31日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載または記録された株主の所有株式数を1株につき2株の割合をもって分割いたしました。

会社概要 (平成16年3月31日現在)

商号 株式会社 第一興商
(英文表記) DAIICHIKOSHO CO., LTD.

所在地 〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26
 TEL. (03)3280-2151 (大代表)

設立 1973年4月16日

資本金 12,349百万円

従業員数 当社 1,182名
 グループ 2,781名

JASDAQ上場 1995年9月19日

ホームページアドレス <http://www.dkkaraoke.co.jp/>

役員 (平成16年6月25日現在)

代表取締役会長 兼最高執行役員
 代表取締役社長 兼最高執行役員
 常務取締役 兼最高執行役員
 常務取締役 兼最高執行役員
 常務取締役 兼最高執行役員
 取締役 兼執行役員
 取締役 兼執行役員

保志忠彦
 米田龍佳
 奥水慎一
 松川伸一
 三野三浩
 林川智博
 緑川英爾
 石川樹一
 掛川裕一
 高瀬信行
 有馬伸治
 有馬敬親
 鈴木康之
 山本弘恒
 山本裕治
 貞末俊一
 有馬達也
 熊谷達也
 三宅彰
 黒川憲太郎
 村井裕一
 和田康孝
 渡邊敏夫

第一興商グループ 当社及び連結子会社 **38**社

(平成16年3月31日現在)

主な事業内容：業務用カラオケ事業/カラオケルーム運営事業/コンテンツ事業/音楽ソフト事業

国内販売子会社 22社

- (株)北海道第一興商
- (株)台東第一興商
- (株)京都第一興商
- (株)釧路第一興商
- (株)城東第一興商
- (株)第一興商近畿
- (株)道南第一興商
- (株)第一興商販売
- (株)京阪第一興商
- (株)東北第一興商
- (株)湘南第一興商
- (株)ハリマ第一興商
- (株)常磐第一興商
- (株)新潟第一興商
- (株)姫路第一興商
- (株)群馬第一興商
- (株)長野第一興商
- (株)九州第一興商
- (株)北関東第一興商
- (株)コスモ第一興商
- (株)城北第一興商
- (株)東海第一興商

その他国内子会社 8社

- (株)ディーケーファイナンス
- (株)トライエム
- (株)ガウスエンタテインメント
- (株)ファーストディストリビューション
- 日本クラウン(株)
- (株)ディーケー音楽出版
- (株)徳間ジャパンコミュニケーションズ
- 丸萩洋酒工業(株)

海外子会社 8社

- (株)韓国第一興商 D. K. Enterprises (Guam), Inc.
- 第一興商(上海)電子有限公司 第一興商(香港)有限公司
- 上海綜藝音楽娛樂有限公司 信昇(香港)有限公司
- Saha Daiichi Kosho Co., Ltd. Daiichi Kosho (Singapore) Pte Ltd.

- (注) 1. Daiichi Kosho (Singapore) Pte Ltd. は休眠会社であります。
 2. (株)ハリマ第一興商と(株)姫路第一興商は、平成16年4月1日付けで合併し、(株)ハリマ第一興商を存続会社とし、社名を(株)兵庫第一興商に変更しております。
 3. 第一興商(香港)有限公司及び信昇(香港)有限公司は平成16年3月31日付けで解散しております。

